

# 自動車盗の発生状況(令和6年9月末)

街頭  
犯罪

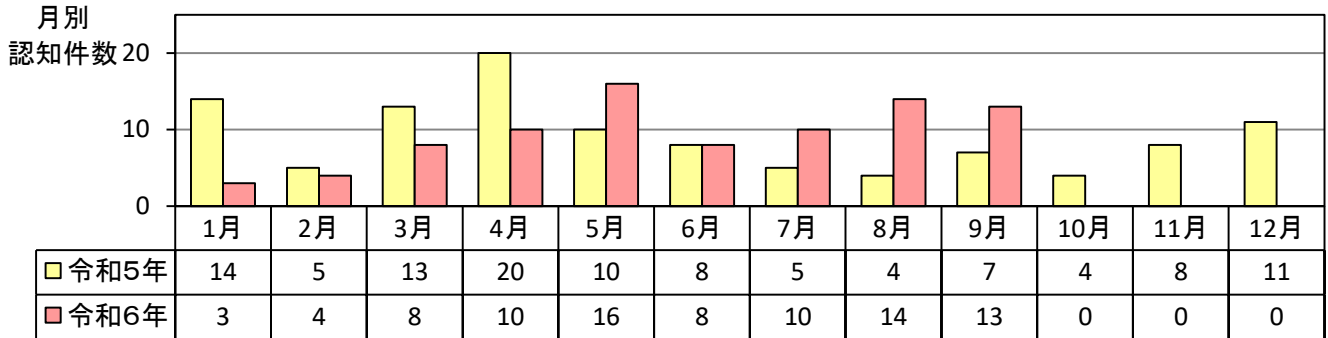
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
86	+0	±0

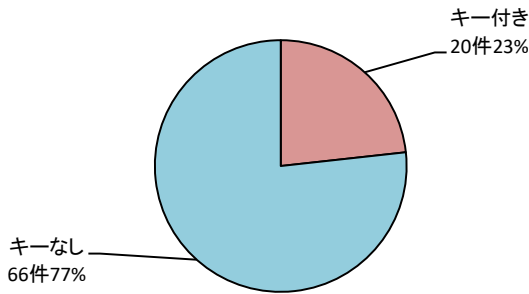
被害回復件数(前年比)		被害回復率(前年比)	
24	±0	27.9%	±0%

※被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和6年9月末、県内における自動車盗は86件発生、被害総額は約352万円、前年比±0件(増減率±0)となっており、約3日に1台が盗難被害に遭っています。

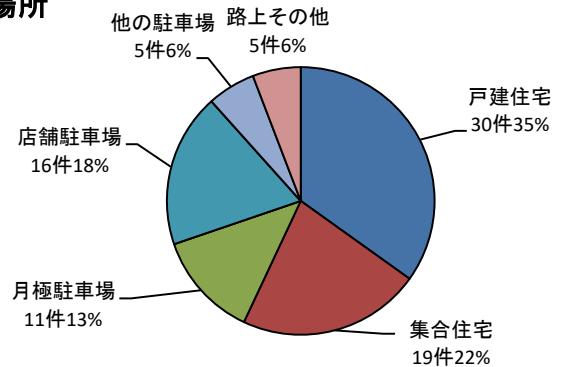


## 2 被害時におけるキー付きの有無



キーなし被害は77%

## 3 被害場所



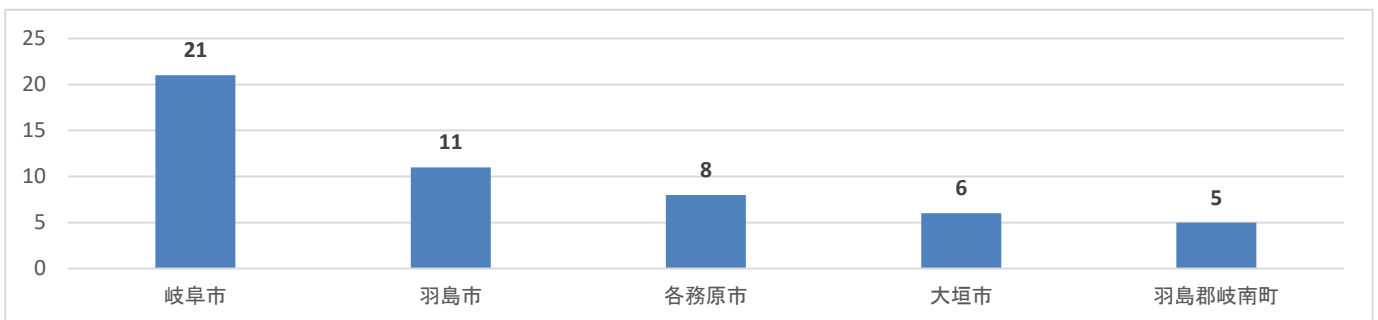
自宅周辺による被害は70%  
(自宅周辺：戸建住宅・集合住宅・月極駐車場)

## 4 被害車両の種別

車種別	乗用車	貨物自動車	特殊自動車	他の自動車
認知件数	69	7	2	0

※ 未遂 8件

## 5 市町村別発生状況



### ～ 自動車盗難防止のポイント ～

1. 短時間の駐車でも車から離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ドアロック」をしましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ハンドルロック、タイヤロック、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

# オートバイ盗の発生状況(令和6年9月末)

街頭  
犯罪

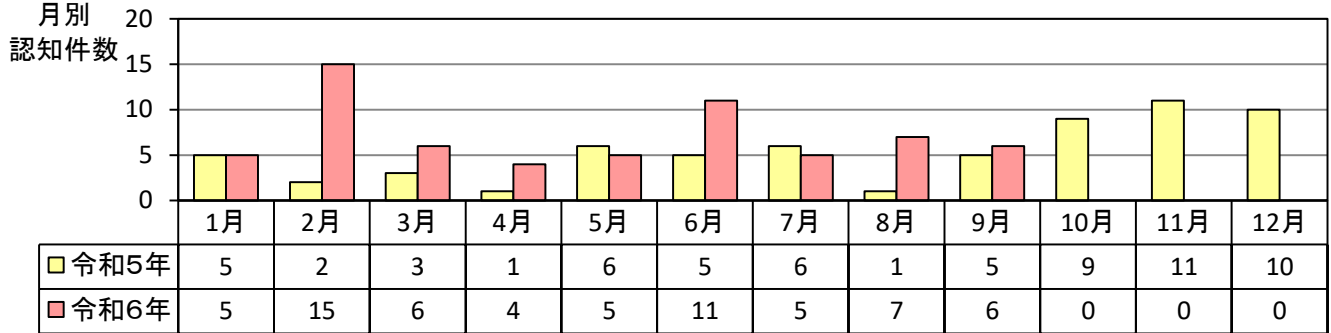
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
64	+30	+88.2%

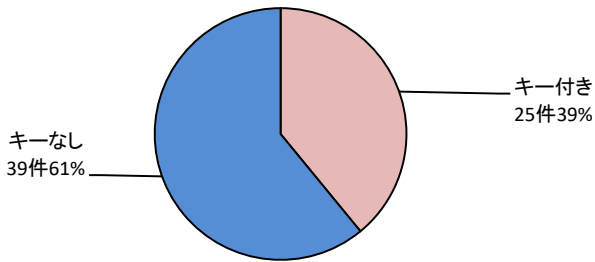
被害回復件数(前年比)	被害回復率(前年比)
23	35.9%
+30	+18.3%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和6年9月末、県内におけるオートバイ盗は64件発生、前年比+30件(増減率+88.2%)となっており、64件中50件は原動機付自転車の盗難被害になります。

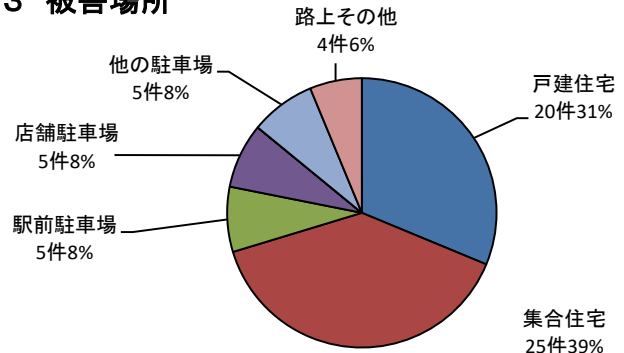


## 2 被害時におけるキー付きの有無



キーなし被害が61%

## 3 被害場所

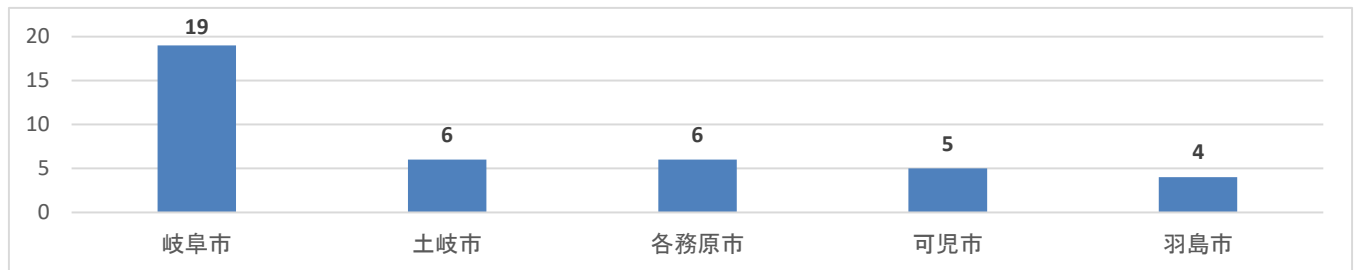


自宅周辺による被害は70%  
(自宅周辺：戸建・集合住宅)

## 4 被害者の年代

年齢別	未成年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	3	25	7	7	10	12

## 5 市町村別発生状況



### ～ オートバイ盗難防止のポイント ～

1. オートバイから離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ハンドルロック」をしましょう。
2. U字ロックやワイヤーロックで「ツーロック」をして、バイクカバーを掛けましょう。
3. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。

# 自転車盗の発生状況(令和6年9月末)

街頭  
犯罪

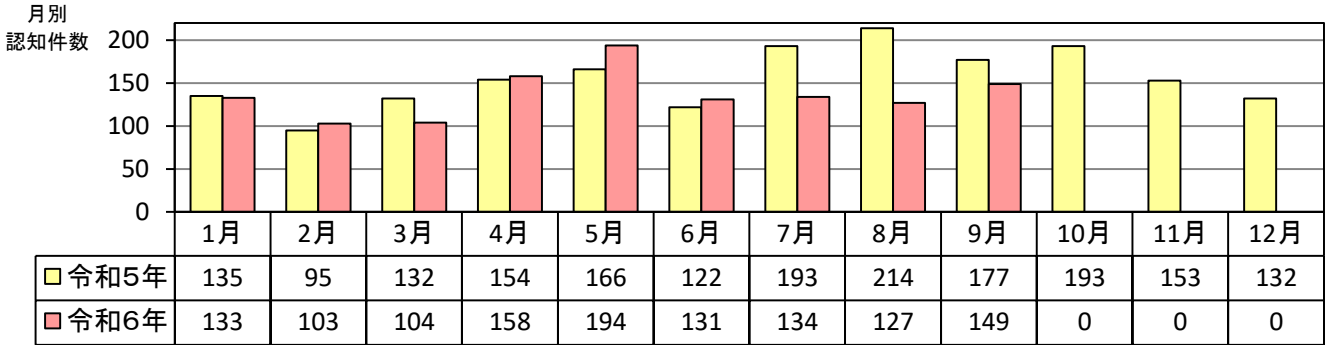
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
1,233	-155	-11.2%

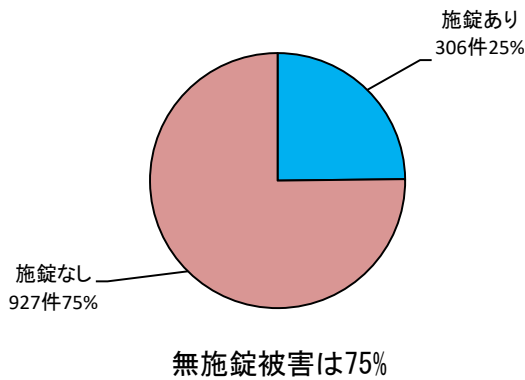
被害回復件数(前年比)	被害回復率(前年比)
639	51.8%
-155	+1.8%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

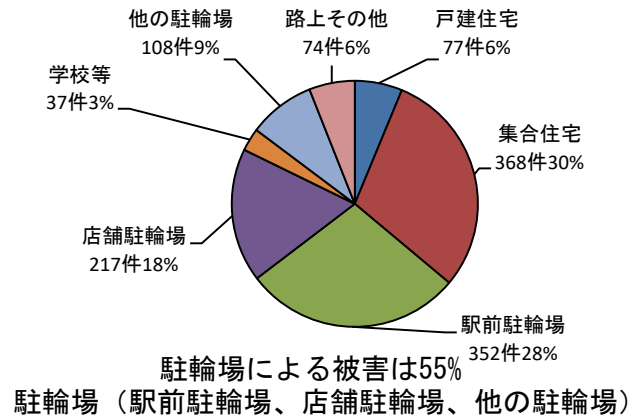
令和6年9月末、県内における自転車盗は1,233件発生、前年比-155件(増減率-11.2%)となっています。また、自転車盗は刑法犯全体の約13.8%を占め、1日平均約5台が盗難被害に遭っています。



## 2 被害時における施錠の有無



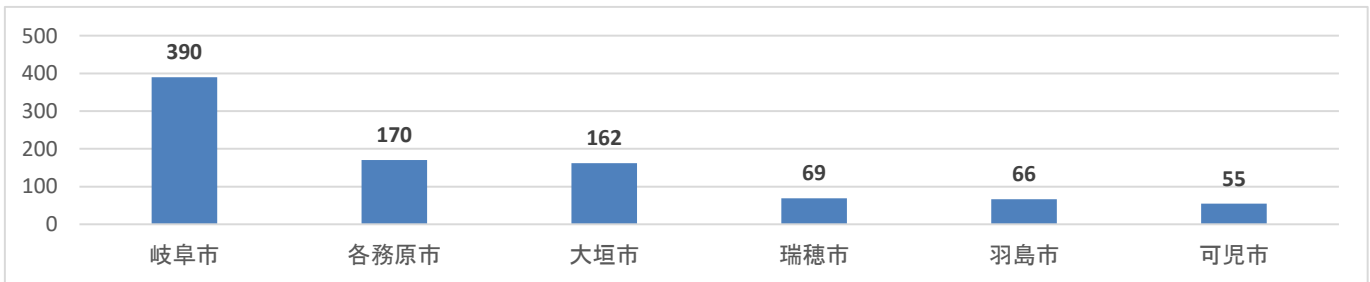
## 3 被害場所



## 4 被害者の職業

職業別	小学生	中学生	高校生	大学生	専修生等	学生以外
認知件数	16	72	367	202	68	508
(うち無施錠)	13	66	301	152	59	336

## 5 市町村別発生状況



### ～ 自転車盗難防止のポイント ～

1. 少しの時間でも自転車から離れるときは、必ず鍵を掛けましょう。
2. 駐輪する際の施錠は、「ツーロック」をしましょう。
3. 駐輪する際は、防犯設備の整った駐輪場を利用しましょう。

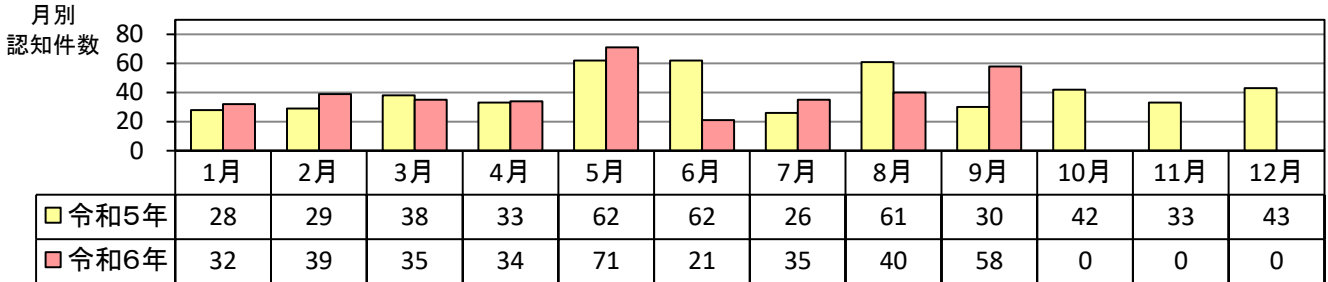
# 車上ねらいの発生状況(令和6年9月末)

街頭  
犯罪

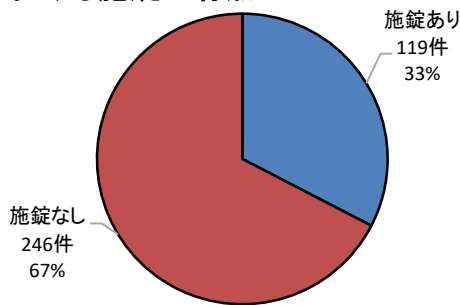
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
365	-4	-1.1%

令和6年9月末、県内における車上ねらいは365件発生、被害総額は約1,536万円、前年比-4件(増減率-1.1%)となっており、1日平均約1台が盗難被害に遭っています。  
車上ねらい被害のうち246件(約67%)は無施錠の状態に遭っています。

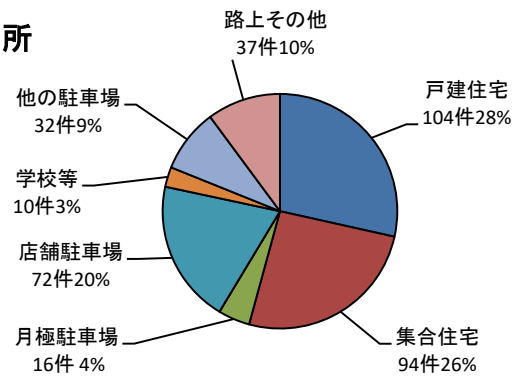


## 2 被害時における施錠の有無



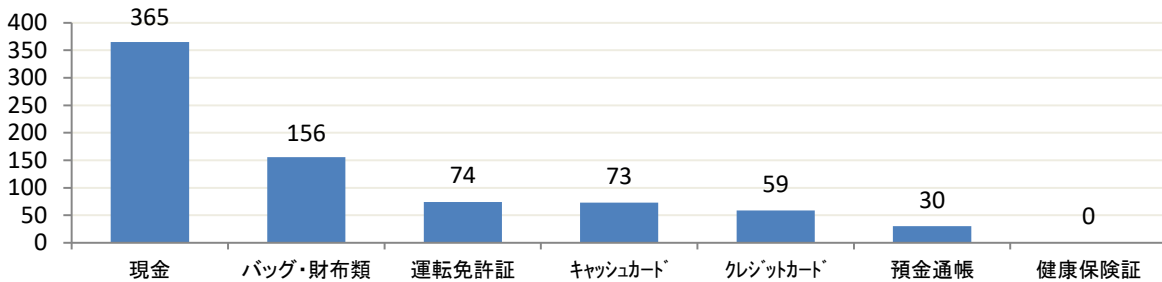
無施錠時の被害が67%

## 3 被害場所

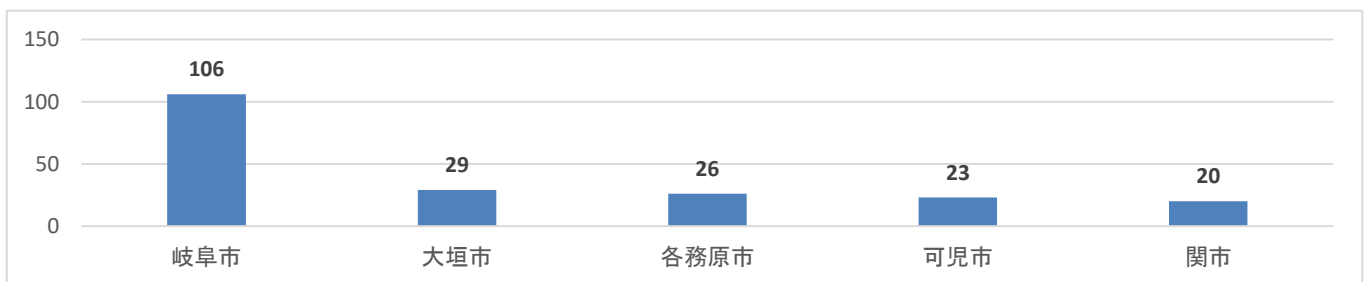


自宅周辺による被害は58%  
(自宅周辺：戸建住宅、集合住宅、月極駐車場)

## 4 主な被害品(被害品を複数計上)



## 5 市町村別発生状況



## ～ 車上ねらい被害防止のポイント ～

1. 駐車時には、必ず「施錠」をして、車内には「カバンや貴重品を放置しない」ようにしましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. 振動センサーなどの盗難防止装置を活用しましょう。

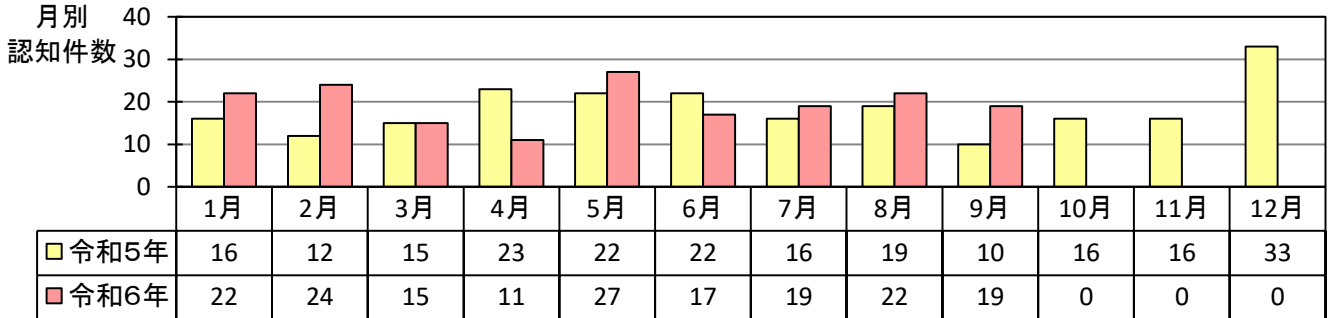
# 部品ねらいの発生状況(令和6年9月末)

街頭  
犯罪

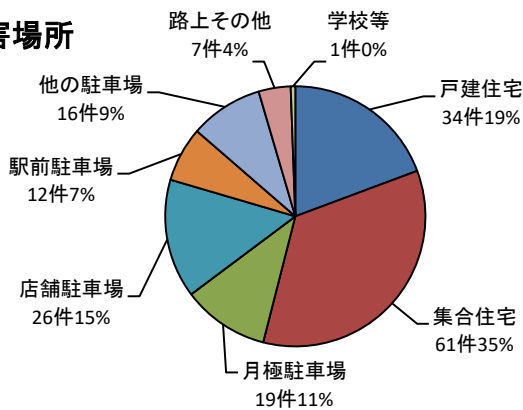
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
176	+21	+13.5%

令和6年9月末、県内における部品ねらいは176件発生、被害総額は約604万円、前年比+21件(増減率+13.5%)となっており、2日に約1台が被害に遭っています。



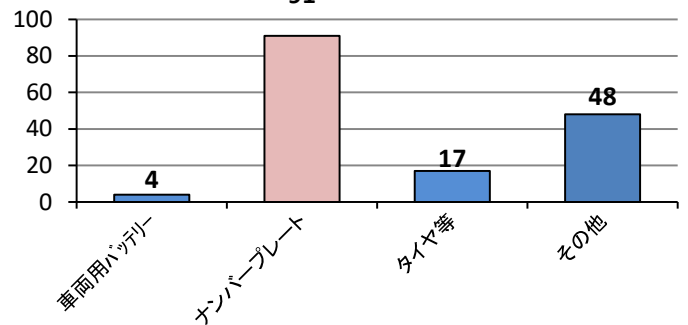
## 2 被害場所



自宅周辺による被害は65%  
(自宅周辺：戸建住宅・集合住宅・月極駐車場)



## 3 主な被害品



ナンバープレートやその他の車両部品(外装等)の被害が多い。

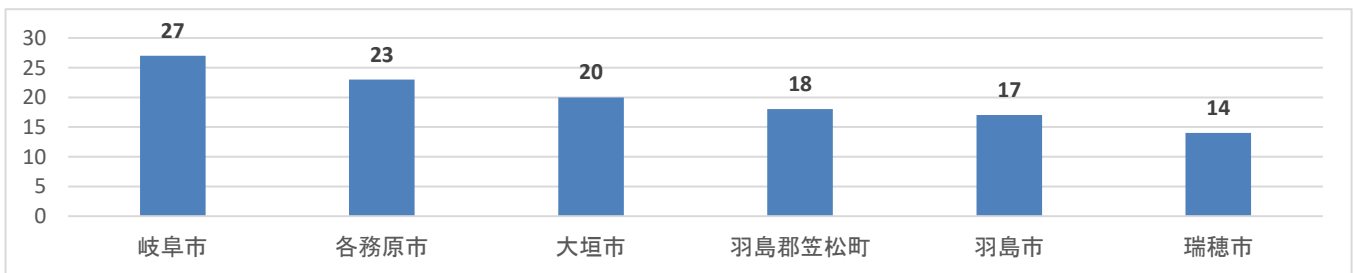
その他の車両部品(外装等)としてバッテリー、ヘッドライト、エンブレム等が狙われている。

被害を防ぐには、

- ナンバープレート盗難防止ネジ
- タイヤ盗難防止ナット
- バッテリー盗難防止ロックナット

などによる**車両部品に対する防犯対策**が必要!

## 4 市町村別発生状況



### ～ 部品ねらい被害防止のポイント ～

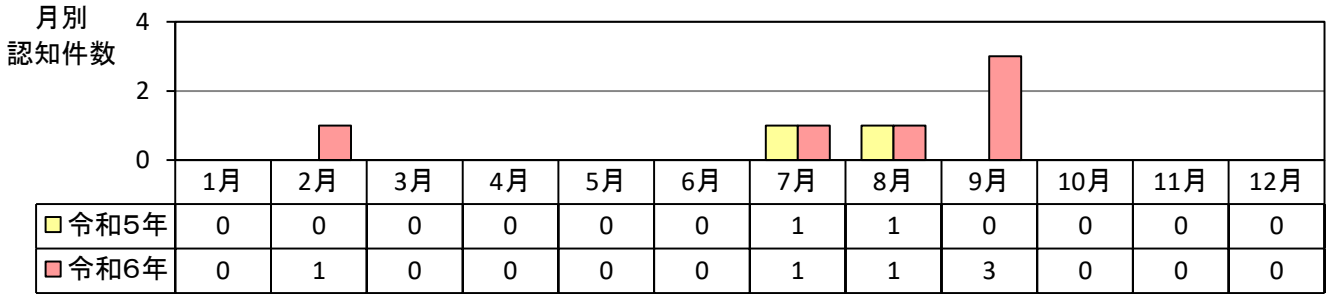
1. ナンバープレートには、「盗難防止ネジ」を装着しましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ロックナット、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

# ひったくりの発生状況(令和6年9月末)

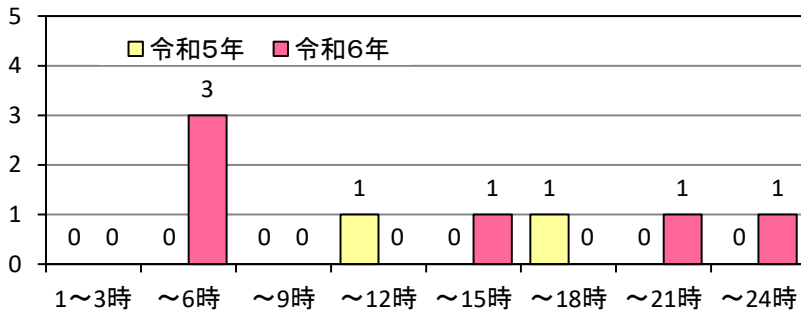
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
6	+4	+200.0%

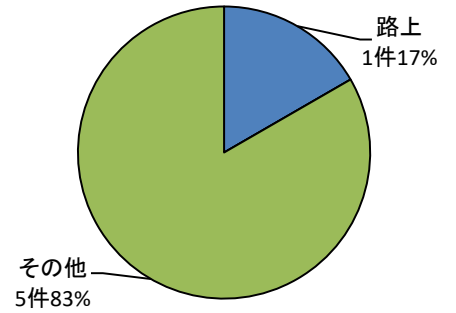
令和6年9月末、県内のひったくりは6件発生、前年比+4件となっています。



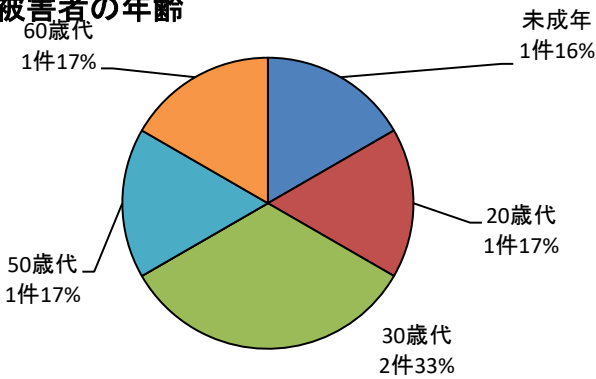
## 2 時間帯別発生状況



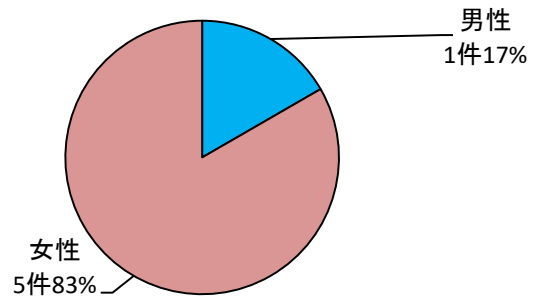
## 3 場所別発生状況



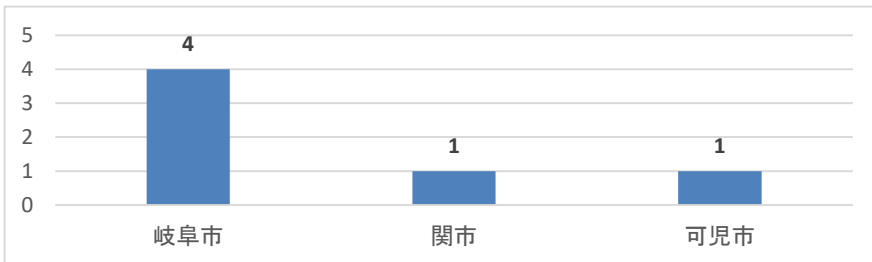
## 4 被害者の年齢



## 5 被害者の性別



## 6 市町村別発生状況



### ～ ひったくり被害防止のポイント ～

1. 道路や歩道では、車道の反対側にカバンや荷物を持ちましょう。
2. 自転車のカゴには、ひったくり防止のカバーやネットを取り付けるのが被害防止に有効です。
3. 金融機関、ATM等を利用した後などは、特に周囲に注意してください。

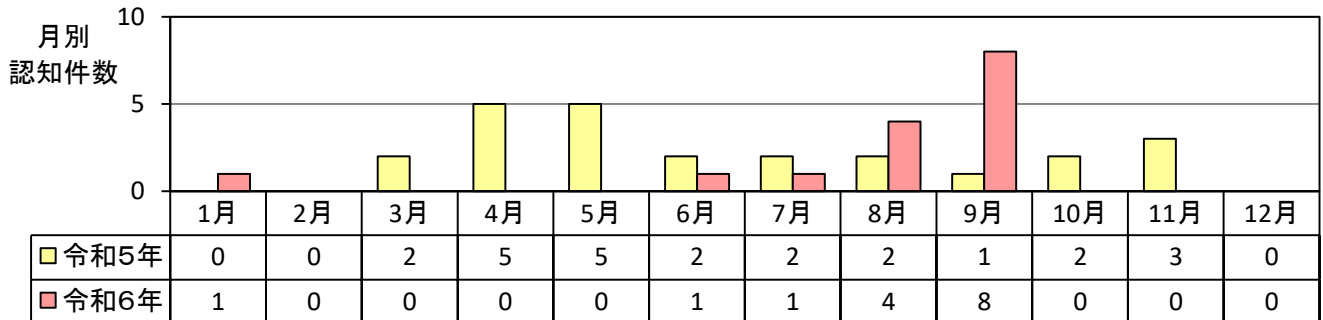
# 自販機ねらいの発生状況(令和6年9月末)

街頭  
犯罪

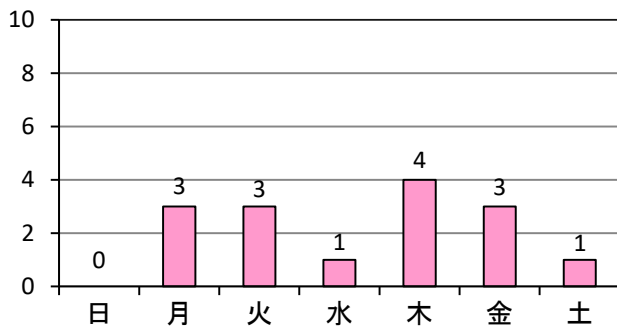
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
15	-4	-21.1%

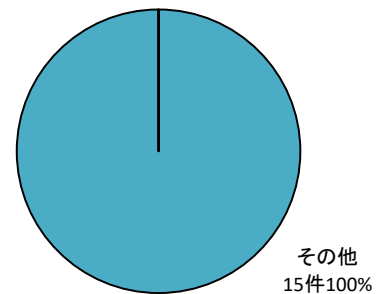
令和6年9月末、県内における自販機ねらいは15件発生、被害総額は約19万円、前年比-4件(増減率-21.1%)となっており、約18日に1件発生しています。



## 2 曜日別発生状況



## 3 場所別発生状況



その他による被害は100%

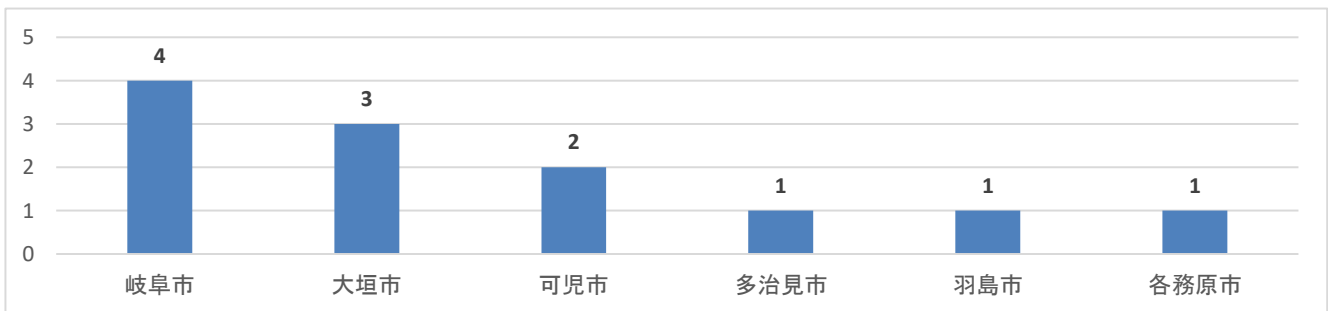
※ その他は住宅・会社・事務所など

## 4 地域別発生状況

地域別認知件数	岐阜地域	西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域
	8	4	2	1	0



## 5 市町村別発生状況



## ～ 自販機ねらい被害防止のポイント ～

1. 自動販売機の設置場所付近に、防犯カメラやセンサーライト等の防犯機器を設置しましょう。
2. 店内や軒下でも被害に遭っていることから、自動販売機自体を堅牢化しておきましょう。
3. 自動販売機内の売上金等は、こまめに回収しておきましょう。

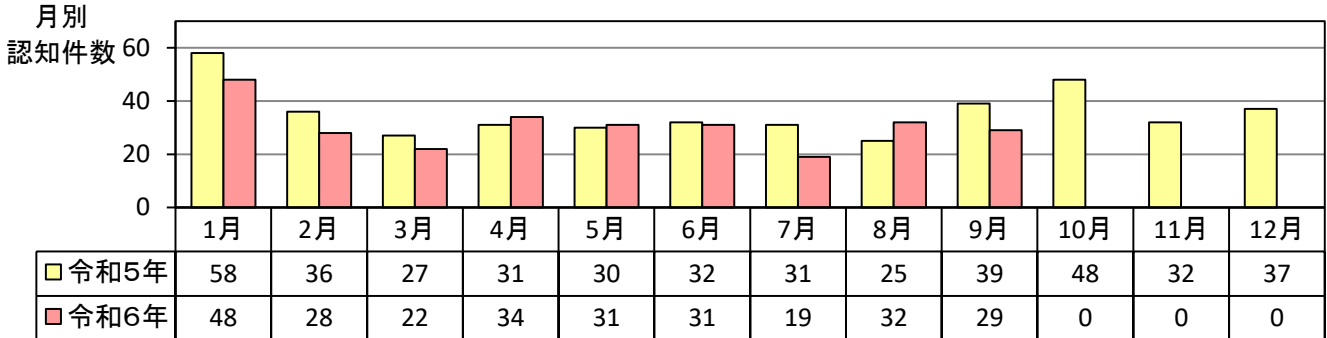
# 空き巣の発生状況(令和6年9月末)

侵入  
犯罪

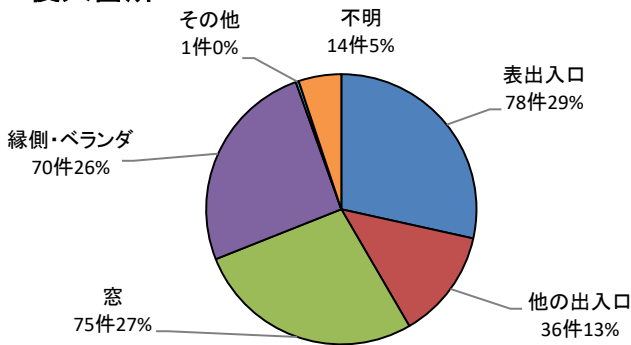
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
274	-35	-11.3%

令和6年9月末、県内における空き巣は274件発生、被害総額は約1,490万円で、前年比-35件(増減率-11.3%)となっており、1日平均約1件発生しています。

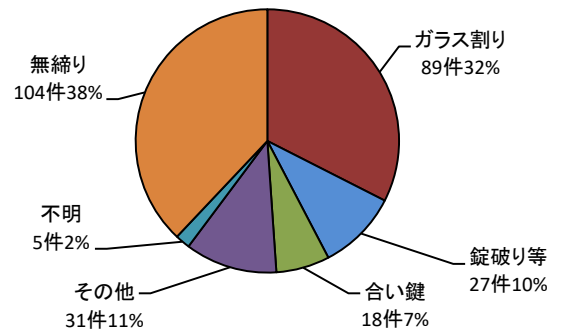


## 2 侵入箇所



出入口からの侵入による被害は42%

## 3 侵入方法



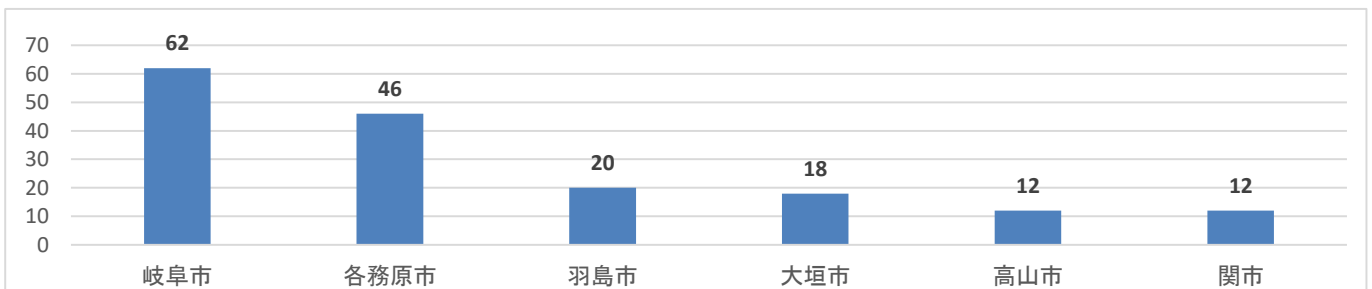
無締りによる被害は38%

## 4 建物別発生状況

建物別 認知件数	戸建住宅	集合住宅(低層)	集合住宅(中高層)	その他
	228	33	13	0

※ 低層 ~ 2階建て以下  
中高層 ~ 3階建て以上

## 5 市町村別発生状況



## ～ 空き巣被害防止のポイント ～

1. 外出するときは、必ず出入口、窓などに鍵を掛け、無締り箇所がないか確認しましょう。
2. 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。



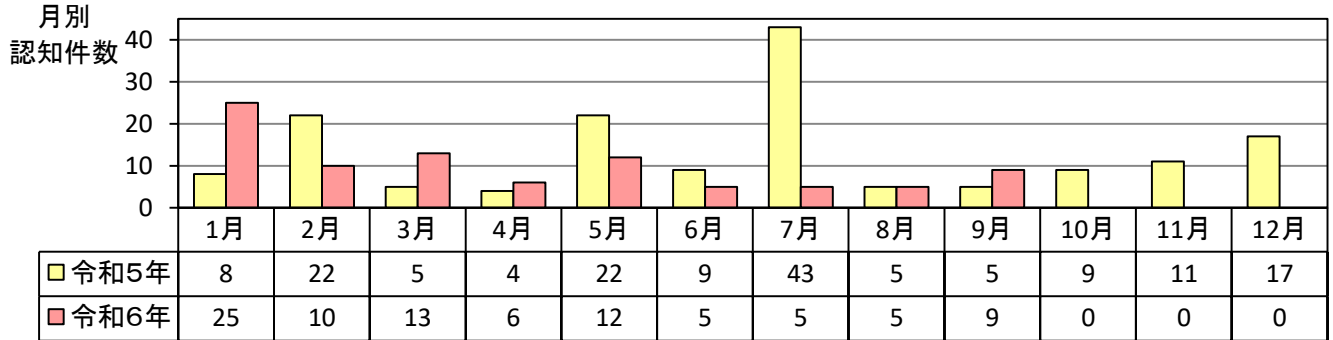
# 忍込みの発生状況(令和6年9月末)

侵入  
犯罪

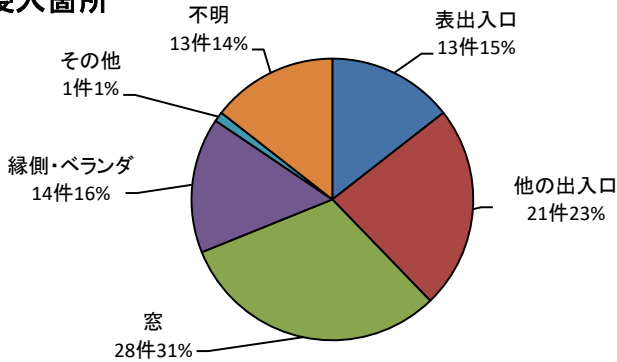
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
90	-33	-26.8%

令和6年9月末、県内における忍込みは90件発生、被害総額は約556万円、前年比-33件(増減率-26.8%)となっており、約3日に1件発生しています。

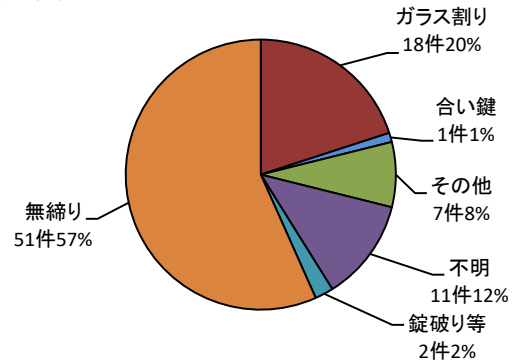


## 2 侵入箇所



出入口からの侵入による被害は38%

## 3 侵入方法



無締りによる被害は57%

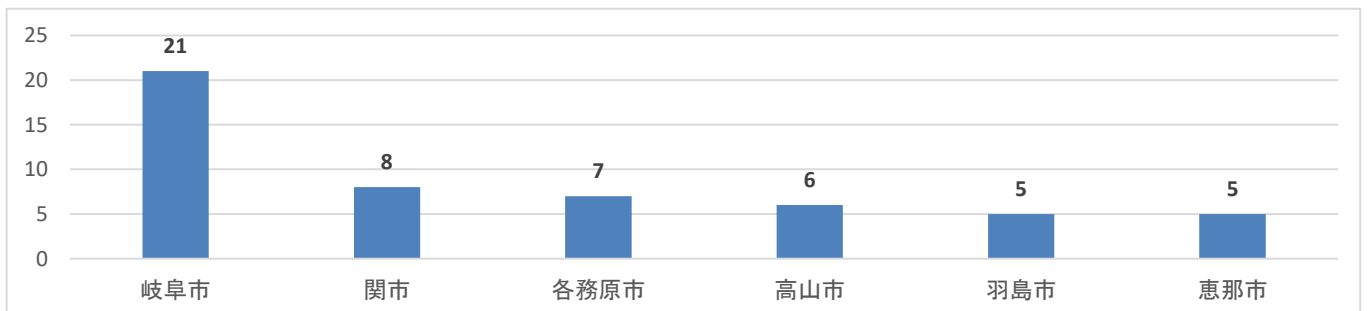
## 4 建物別発生状況

建物別認知件数	戸建住宅	集合住宅(低層)	集合住宅(中高層)
	82	7	0

※ 低層 ~ 2階建て以下  
中高層 ~ 3階建て以上  
※その他の建物 1件

※戸建住宅が被害の対象となっている。

## 5 市町村別発生状況



## ~ 忍込み被害防止のポイント ~

1. 在宅時も出入口、窓など確実な施錠を習慣づけましょう。
2. 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

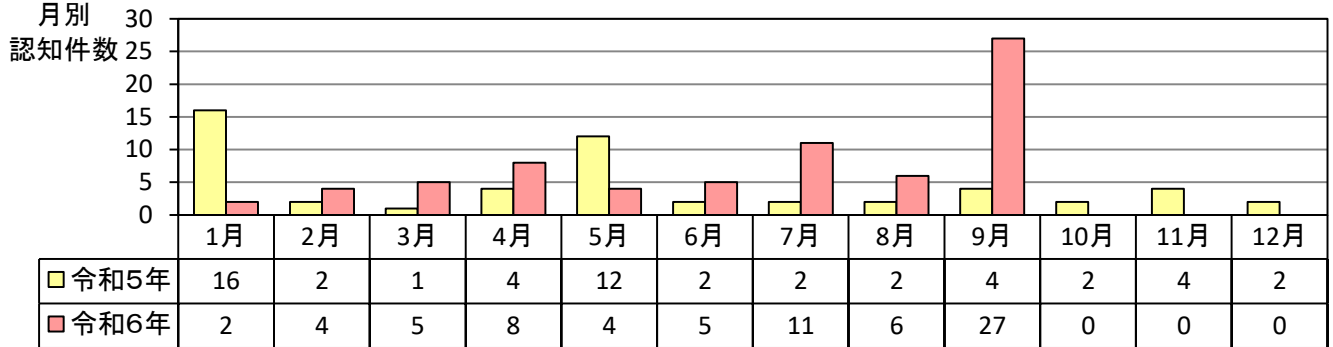
# 事務所荒しの発生状況(令和6年9月末)

侵入  
犯罪

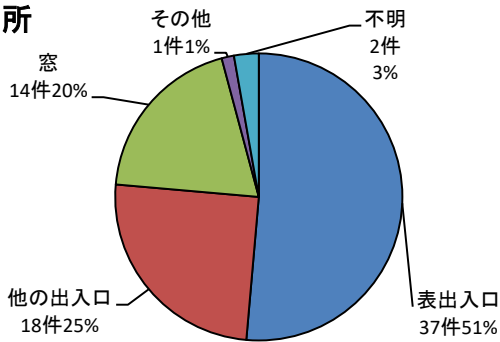
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
72	+27	+60.0%

令和6年9月末、県内における事務所荒しは72件発生、被害総額は約52万円、前年比+27件(増減率+60.0%)となっており、約4日に1件発生しています。

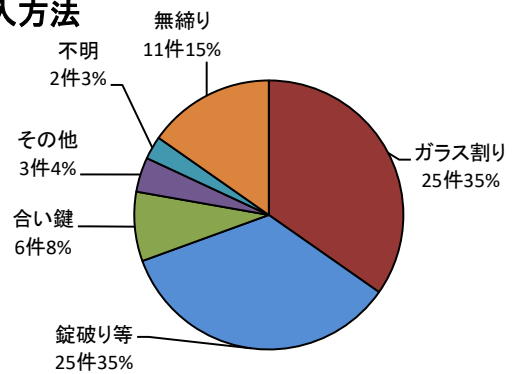


## 2 侵入箇所



出入口からの侵入被害は76%

## 3 侵入方法

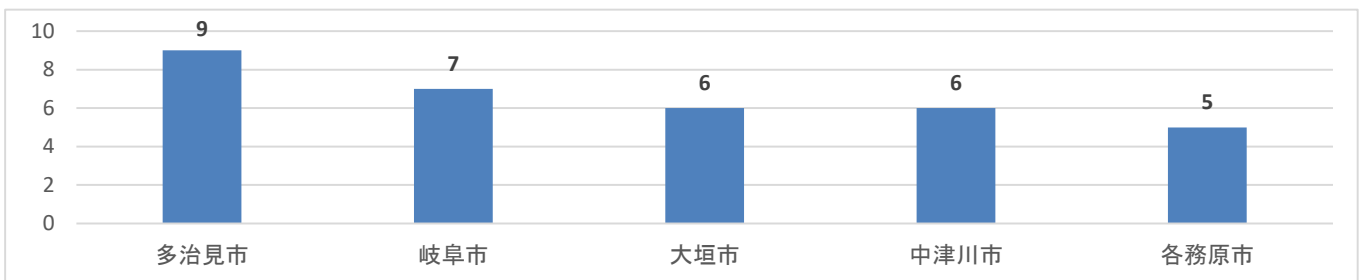


ガラス割りによる被害は35%

## 4 建物別発生状況

建物別	会社・事務所	飲食店	他の商店	その他
認知件数	65	0	0	7

## 5 市町村別発生状況



## ～ 事務所荒し被害防止のポイント ～

1. 事務所の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品 (CP部品) を利用しましょう。
4. 事務所が無人的となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

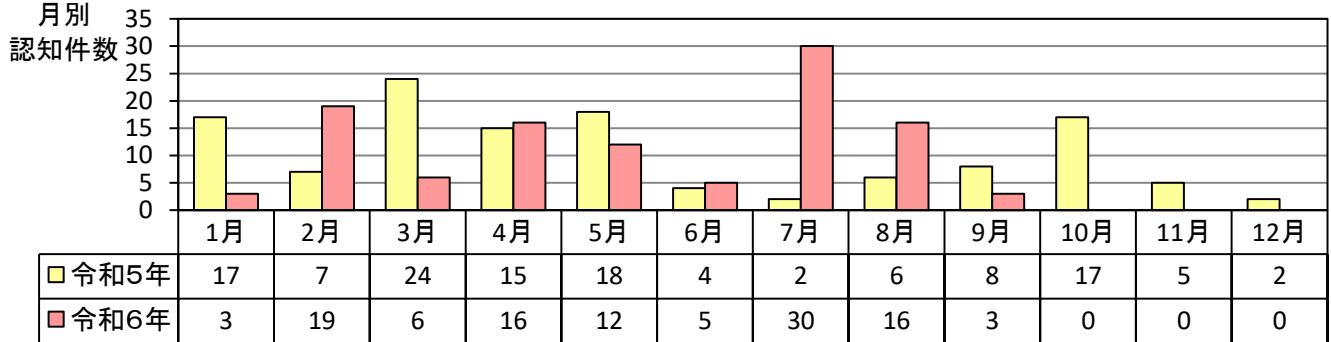
# 出店荒しの発生状況(令和6年9月末)

侵入  
犯罪

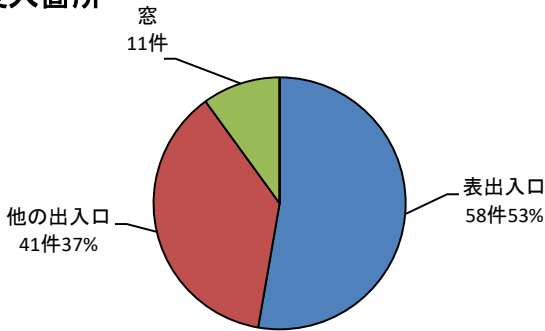
## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
110	+9	+8.9%

令和6年9月末、県内における出店荒しは110件発生、被害総額は約286万円、前年比+9件(増減率+8.9%)となっており、約2日に1件発生しています。

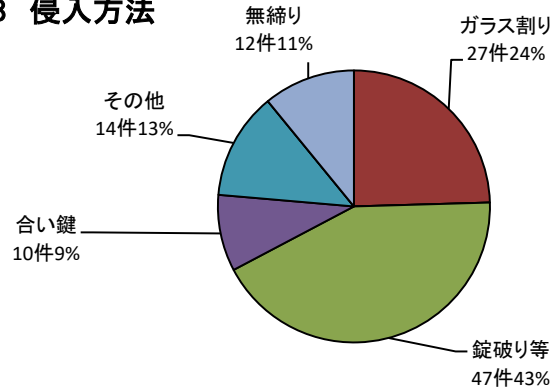


## 2 侵入箇所



出入口からの侵入被害は90%

## 3 侵入方法

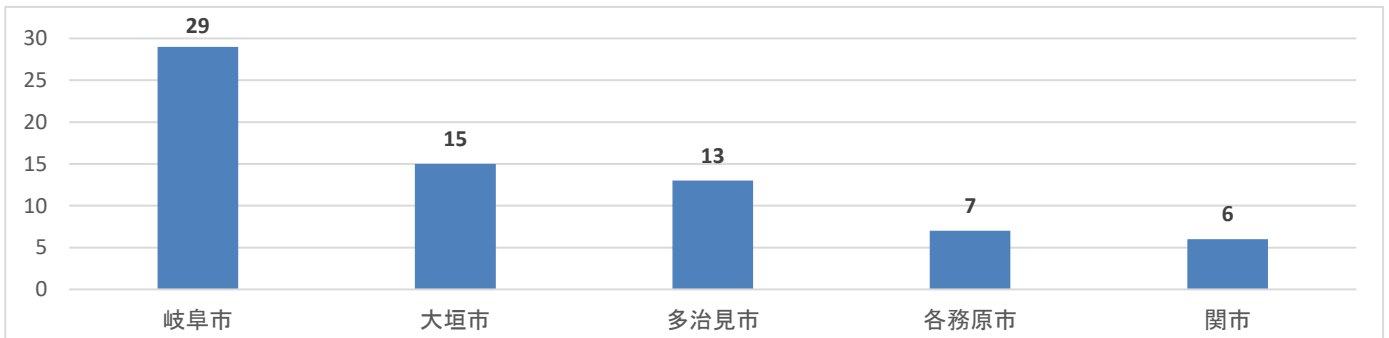


錠破り等による被害は43%

## 4 建物別発生状況

建物別	飲食店	他の店舗	会社・事務所	その他
認知件数	0	0	65	45

## 5 市町村別発生状況



### ～ 出店荒し被害防止のポイント ～

1. 店舗の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 店舗が無人とする休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

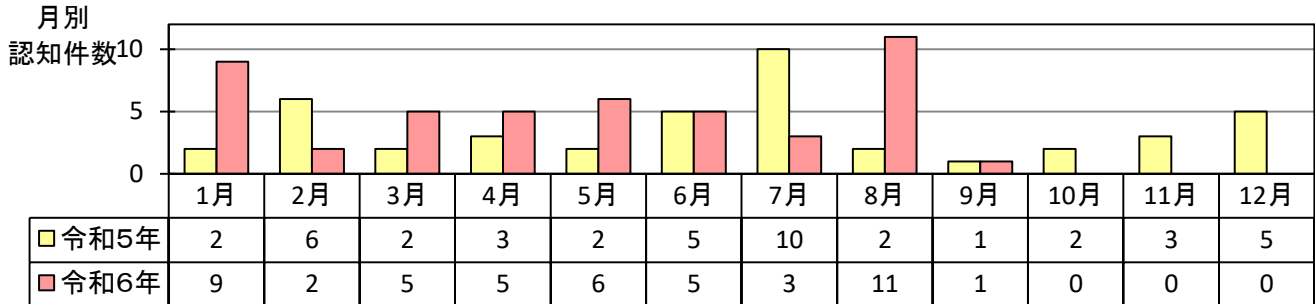
# 不同意わいせつの発生状況(令和6年9月末)

その他

## 1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
47	+14	+42.4%

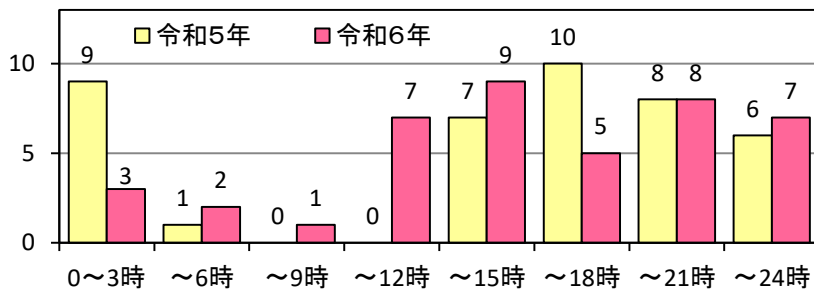
令和6年9月末、県内における不同意わいせつは47件、前年比+14件(増減率+42.4%)となっています。



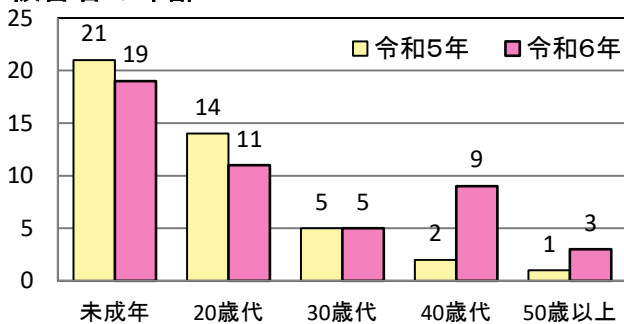
## 2 時間帯別発生状況

※令和5年 時間帯不明2件

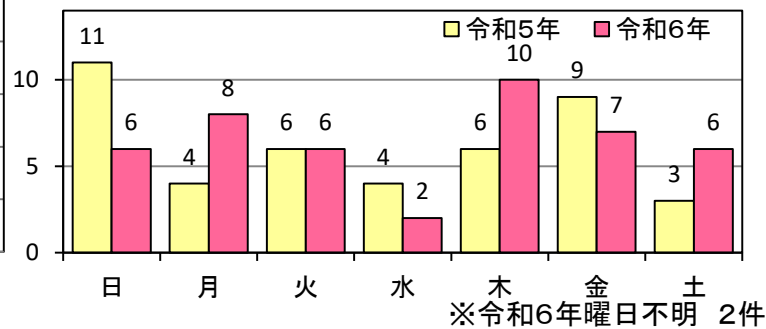
※令和6年 時間帯不明5件



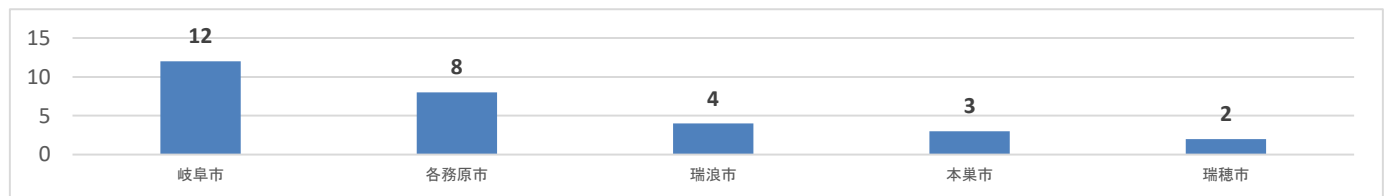
## 3 被害者の年齢



## 4 曜日別発生状況



## 5 市町村別発生状況



## ~ 不同意わいせつ被害防止のポイント ~

1. 夜間の外出は、街路灯に照らされ、人通りの多い道を歩きましょう。
2. 道路を歩く時は、イヤホン(音楽)などで耳を塞がず、周りを警戒しましょう。
3. 防犯ブザーなどの防犯器具を持ち歩きましょう。
4. 女性の一人暮らしの場合は、表札の名前を苗字にするなどして、一人暮らしを悟られないようにし、配達や集金を装う者が訪問しても、すぐには扉を開けず、ドアチェーンを掛けて対応するよう心掛けましょう。

# 万引きの発生状況(令和6年9月末)

その他

## 1 万引きの認知件数

### (1) 令和6年9月末

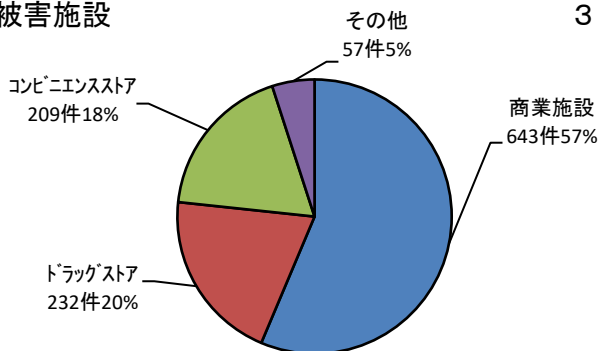
認知件数	前年比	増減率
1,141	+153	+15.5%

### (2) 月ごとの推移(認知件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和5年	105	99	122	99	122	117	96	110	118	109	141	106	1,344
令和6年	133	118	115	139	124	128	140	105	139				1,141

令和6年9月末、県内の万引きの発生は1,141件、前年比+153件(増減率+15.5%)となっています。

## 2 被害施設



## 3 被害金額

順位	場所	被害金額(千円)
1	商業施設	12,794
2	ドラッグストア	6,593
3	その他	4,219
4	コンビニ	455

- ・ 商業施設における被害額が最も多い
- ・ ドラッグストアにおける一件あたりの被害額は、約28,500円

商業施設における被害は57%

※ 商業施設とは、デパート、ショッピングモール、スーパーなど

## 4 ドラッグストア対象万引き

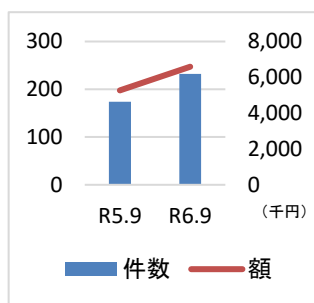
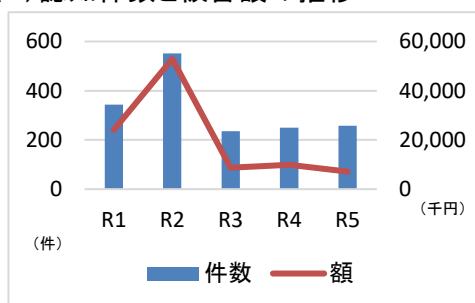
### (1) 令和6年9月末

認知件数	前年比	増減率
232	+58	+33.3%

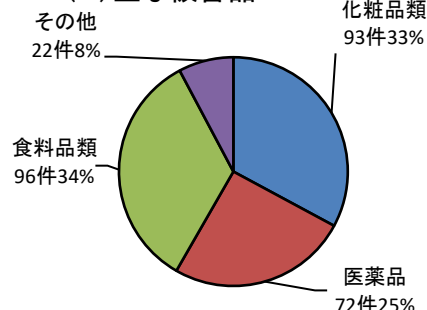
### (2) 月ごとの推移(認知件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和5年	18	23	24	13	11	17	25	24	19	22	23	38	257
令和6年	32	27	36	24	17	18	33	20	25				232

### (3) 認知件数と被害額の推移



### (4) 主な被害品



## ～ 万引き被害防止のポイント ～

1. 来店客には、顔を見て「いらっしゃいませ」などと積極的に声掛けし、万引きをさせない雰囲気づくりに努めましょう。
2. 店舗内に死角が生じないように、商品の陳列棚等の設置場所や商品の陳列方法に配慮しましょう。
3. 売り場や店舗出入口のほか、駐車場等の店舗周辺にも防犯カメラを設置しましょう。